



GmenBle のアイコンをタップしてください。

G-MEN 本体のファームウェアは  
RLS=20002.8 2023/8/1 リリース以降を  
使用してください。

※G-Trace.net2 に接続すると G-MEN のファームウェアの Ver.を確認する事ができます。



G-MEN の BGX の一覧が表示されます。  
接続する G-MEN を選択してタップします。

表示されている RSSI 値は電界強度で  
す。値が小さいほど安定した接続となり  
ます。

-90 以下では通信が不安定になります。



<p> <b>GL 20</b>          液晶表示 0          周期 1msec          閾値 0.00G          温度 27.0°C          VER 20002.7       </p> <p>         Xpeak 0.00G          Xc 0.00G          Ypeak 0.00G          Yc 0.00G          Zpeak 0.00G          Zc -1.00G          d 0000*      RSSI -34       </p>	<p>タップして接続に成功すると機種・本体番号・液晶表示タイプ・記録数等の設定値が表示されます。</p> <p>XYZ 軸は黄線と青線の 2 種があり、黄線上の●はピーク値、青線上の●は重力の値 を表示します。(GL100 は除く)</p> <p>左図は PC 接続 (G-Trace.net2) によって設定が完了し、すでに計測している状態です。</p> <p>BLE 接続の表示の際、G-MEN 本体の液晶には温度表示の先頭に【*】が表示されます。</p> <p>BLE 切断時は【*】は表示されません。</p>	<p> <b>GL 20</b>          液晶表示 0          周期 1msec          閾値 0.00G          温度 27.0°C          VER 20002.7       </p> <p>         本体番号 1          記録数 77          記録間隔 1sec          応答周波数 100hz          湿度 54%       </p> <p>↓</p> <p><b>GMEN BLE SEARCH</b></p> <p>Scan</p> <p>         BGX-FAA1    本体番号 0          RSSI -45       </p> <hr/> <p>         BGX-FA8C    本体番号 1          RSSI -29       </p>	<p>通信の切断は左上の【Scan】をタップします。</p> <p>BLE 一覧の画面に戻ると切断されます。</p> <p>再度接続する場合は接続する G-MEN を選択してタップします。</p>
--	--	--	--

【PC 接続せずに計測を開始する方法】

PC 接続（G-Trace.net2 での設定）をせずに、電池を挿入した直後は G-MEN の液晶には「SLEEPING」の表示がされます。



設定変更の必要が無い場合はアプリの【▶START】ボタンをタップします。



確認ダイアログが表示されます。初期開始する場合は【Ok】をタップすることで G-MEN の計測を開始することができます。

※計測した記録は消去されます。

このとき iOS 側から時刻のデータが送信されます。

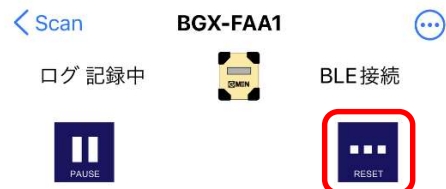
計測が開始されている状態です。



## iOS バージョン

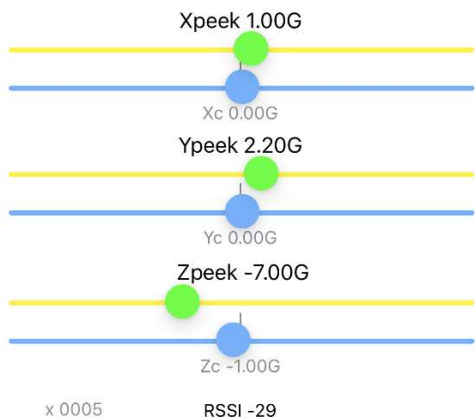
### 【ピーク値のリセット】

計測をモニタリングしている途中でこれまでのピーク値をリセットして再度ピーク値をモニタリングする場合は【RESET】ボタンをタップします。



GL 20  
液晶表示 0  
周期 1msec  
閾値 0.00G  
温度 28.6°C  
VER 20002.7

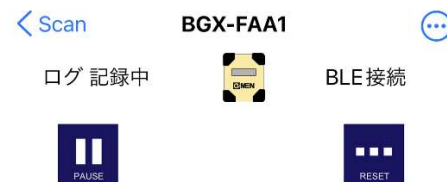
本体番号 0  
記録数 404  
記録間隔 1sec  
応答周波数 100hz  
湿度 49%



ピーク値のリセット【O k】する。  
この時の RESET は記録データ数に影響はありません。

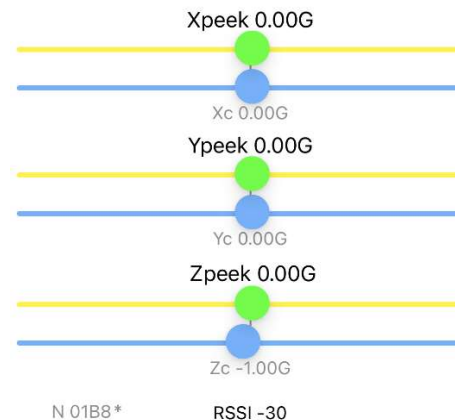


ピーク値の表示のみリセットされ、モニタリング計測は継続しています。



GL 20  
液晶表示 0  
周期 1msec  
閾値 0.00G  
温度 28.6°C  
VER 20002.7

本体番号 0  
記録数 440  
記録間隔 1sec  
応答周波数 100hz  
湿度 49%



### 【ログ記録の REC/PAUSE】

< Scan **BGX-FAA1** BLE 接続  
ログ 記録中  
  
 GL 20  
 液晶表示 0  
 周期 1msec  
 閾値 0.00G  
 温度 28.6°C  
 VER 20002.7  
 本体番号 0  
 記録数 440  
 記録間隔 1sec  
 応答周波数 100hz  
 湿度 49%

↓

< Scan **BGX-FAA1** BLE 接続  
ログ 停止中  
  
 GL 20  
 液晶表示 0  
 周期 doze  
 閾値 0.00G  
 温度 28.7°C  
 VER 20002.7  
 本体番号 0  
 記録数 1686  
 記録間隔 1sec  
 応答周波数  
 湿度 49%

**【PAUSE】ボタンをタップするとモニタリングも計測記録も停止します。**  
 この時「ログ記録中」から「ログ停止中」になります。  
 PAUSE 指示のとき G-MEN 本体液晶の温度表示の先頭には【 \_ 】が表示されます。



< Scan **BGX-FAA1** BLE 接続  
ログ 停止中  
  
 GL 20  
 液晶表示 0  
 周期 doze  
 閾値 0.00G  
 温度 28.7°C  
 VER 20002.7  
 本体番号 0  
 記録数 1686  
 記録間隔 1sec  
 応答周波数  
 湿度 49%


↓

< Scan **BGX-FAA1** BLE 接続  
ログ 記録中  
  
 GL 20  
 液晶表示 0  
 周期 1msec  
 閾値 0.00G  
 温度 28.6°C  
 VER 20002.7  
 本体番号 0  
 記録数 440  
 記録間隔 1sec  
 応答周波数 100hz  
 湿度 49%

**【REC】ボタンをタップすると計測は再開し記録も継続します。**  
 この時「ログ停止中」から「ログ記録中」になります。  
 REC 指示のとき G-MEN 本体液晶の温度表示の先頭には【 \* 】が表示されます。



【GmenBle アプリの設定】

アプリ画面の右上メニューよりをタップし「設定」をタップします。



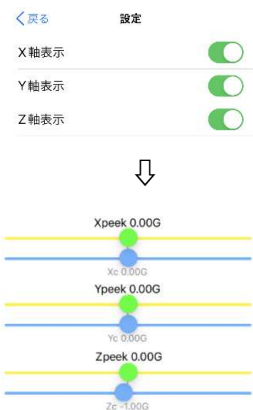
【画面ロックしない】をタップし下記の様になるとスマホ画面が Sleep しくなります



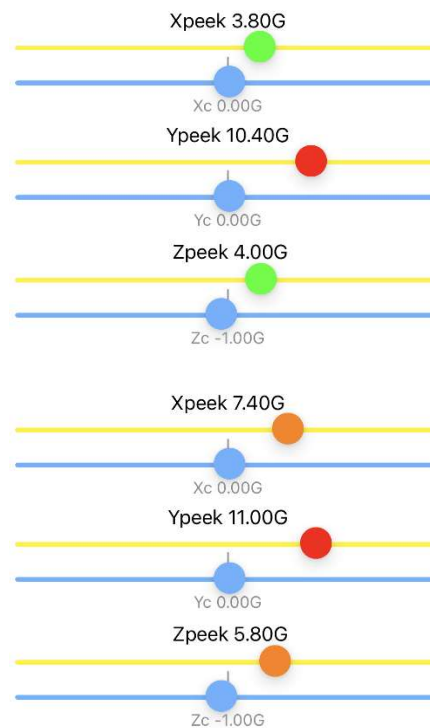
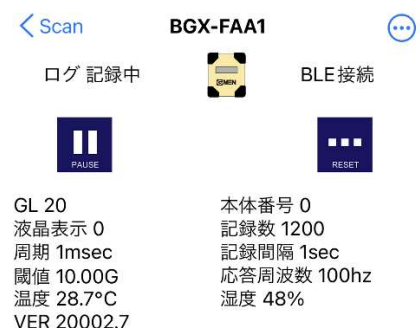
【閾値設定について】

【表示軸】

表示したい軸をタップすると選択した軸が表示されます。



表示したくない軸をもう一度タップすると選択した軸が非表示になります。



PC 接続 (G-Trace.net2 での設定) より閾値を設定した場合、閾値を超えた値を検出するとピーク軸の色が赤色●になります。  
 その他の軸はオレンジ色若しくは緑色になります。  
 オレンジ色：閾値 1/2～閾値の値まで  
 緑色：閾値～1/2 の値まで

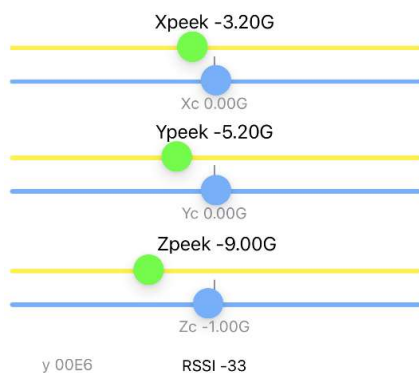
# iOS バージョン

## 【ハザード設定について】

PC 接続 (G-Trace.net2 での設定) よりハザード設定をした場合、ハザード値を超えるとハザード値を超えた瞬間から設定したサンプリング周期毎に 1,000 データ記録して計測は停止します。



GL 20	本体番号 0
液晶表示 0	記録数 1020
周期 Hazerd	記録間隔 1sec
閾値 0.00G	応答周波数 100hz
温度 30.4°C	湿度 48%
VER 20002.7	



ハザード値を超えると G-MEN 液晶には【hALTEd】と表示されます。



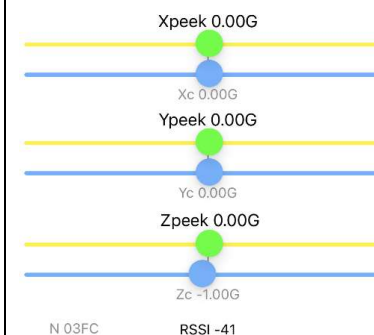
計測を再開する場合は【▶START】ボタンをタップします。  
Hazard を解除する場合は【Ok】をクリックします。



Hazard 解除を OK すると【SLEEPING】の状態になりますので再開する場合は【▶START】ボタンをタップします。  
この一連の操作で記録されたデータは消去されます。  
データが必要な場合は【▶START】をする前に PC に接続してデータ取得を行ってください。




GL 20	本体番号 0
液晶表示 0	記録数 1020
周期 Sleeping	記録間隔 1sec
閾値 0.00G	応答周波数 100hz
温度 30.4°C	湿度 47%
VER 20002.7	



# iOS バージョン

## 【GmenBle チャート機能】

GmenBle チャート機能は計測したデータを転送できる機能です。

アプリ画面の右上メニューよりをタップし「チャート」を選択します。



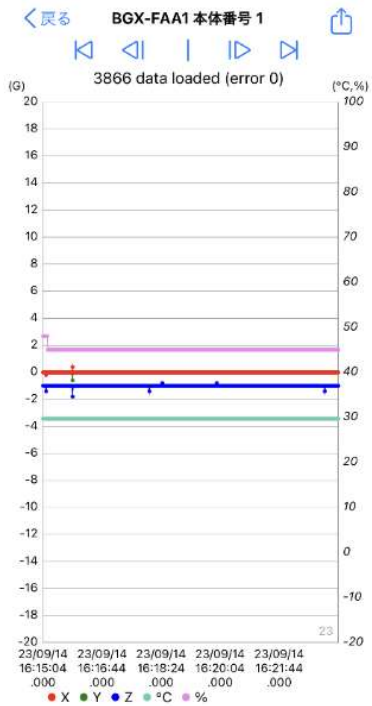
【Ok】を選択します。




読み込みを始めるとインジケータが動き出します。



読み込みが完了すると読み込まれた表が表示されます。



読み込んだデータを転送する場合は右上のをタップします。



送信方法を選択します。

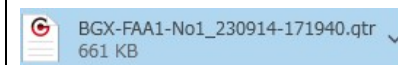


送信先を指定しをタップし送信します。

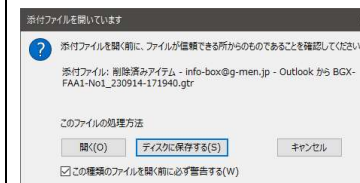


受信されたデータは G-Trace.net2 がインストールされた PC で開くことができます。

データ受信時のデータファイルです。



ファイルをダブルクリックすると下記ダイアログが表示されます。「開く」または「ディスクに保存する」を選択します。



G-Trace.net2 で表示したデータです。

